

経営比較分析表（平成30年度決算）

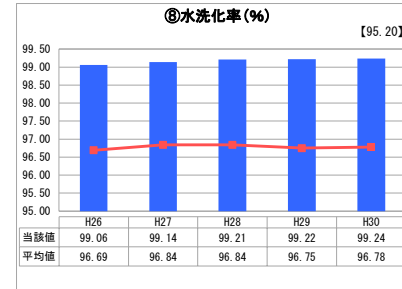
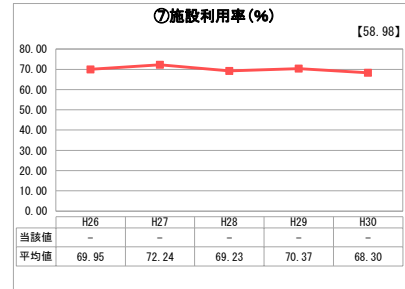
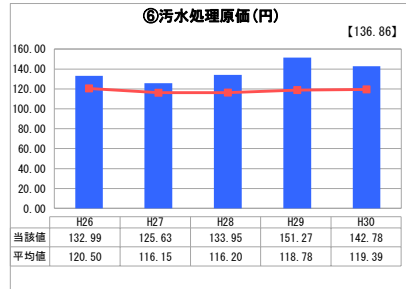
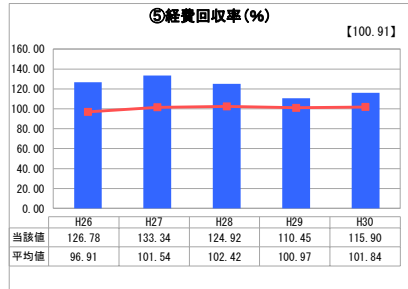
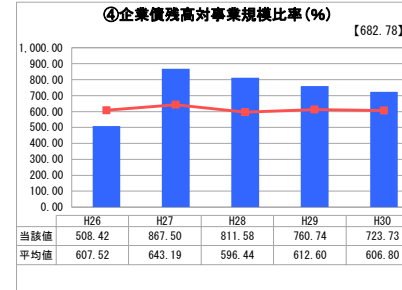
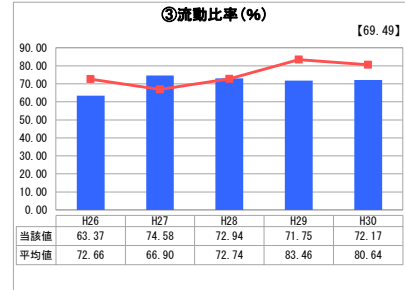
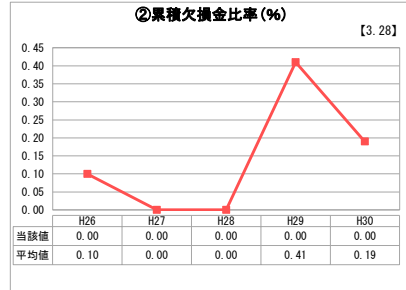
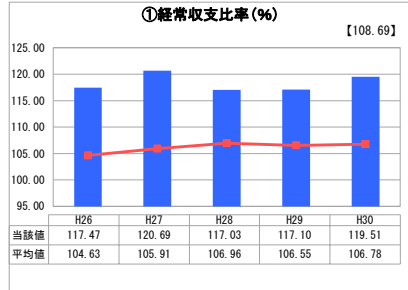
福岡県 春日市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ab	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	52.96	100.00	89.69	3,110

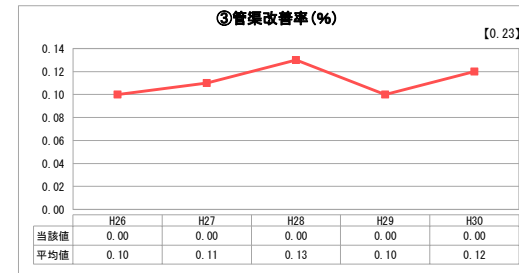
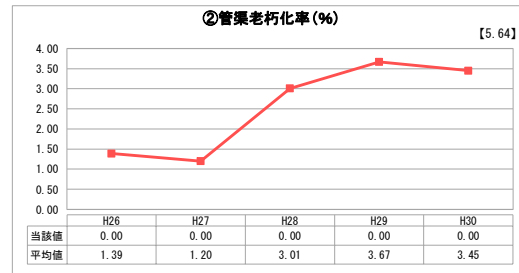
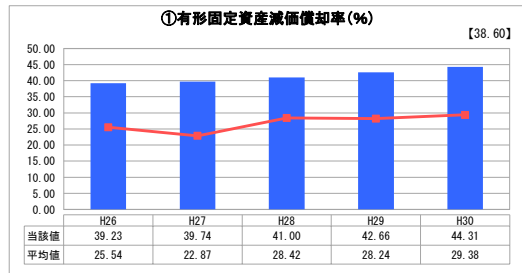
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
113,225	14.15	8,001.77
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
113,157	13.80	8,199.78

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
100%を超えており、健全な経営状態です。また、類似団体平均を上回り、良好な水準です。

② 累積欠損金比率
累積欠損金はありません。今後も欠損金が生じることがないよう、引き続き、適正な経営を行っていく必要があります。

③ 流動比率
100%を下回っていますが、年間の使用料収入等で企業債などの返済は可能であり、支払能力に問題がある水準ではありません。

④ 企業債残高対事業規模比率
類似団体平均と比較すると高い水準にありますが、企業債残高の減少に伴い、年々減少しています。

⑤ 経費回収率
100%を超えており、健全な経営状態です。また、類似団体平均を上回り、良好な水準です。平成29年度は、決算統計上、公費負担分の算定方法が変更となったことにより低くなりました。

⑥ 汚水処理原価
類似団体平均と比較すると高い水準にありますが、今後は企業債残高の減少に伴う支払利息（資本費）の減少により、当該比率は減少していく見込みです。平成29年度は、決算統計上、公費負担分の算定方法が変更となったことにより高くなりました。

⑦ 施設利用率
汚水処理施設を所有していないため、当指標の表示はありません。

⑧ 水洗化率
99%を超えており、類似団体平均と比較しても高い水準にあります。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
平成10年度に下水道の整備が完了しており、類似団体平均と比較すると高い水準にあります。今後、減価償却が進んでいくため、上昇していく見込みです。

② 管渠老朽化比率
平成30年度未現在、法定耐用年数を経過した管渠はありません。

③ 管渠改善率
平成30年度未現在、法定耐用年数を超え、更新が必要な管渠はありません。今後、老朽化が進み、令和7年度以降は、法定耐用年数を超えた管渠が発生する見込みです。

全体総括

1. 経営の健全性・効率性
下水道使用料収入が削減となったものの、経費の削減により、本市の下水道事業の経営状態は、引き続き健全であると判断できます。
ただし、高い水洗化率、人口減少の見込みや節水意識の高まりなどにより今後の大幅な増収は見込めません。
一方、管渠更新に係る費用の増加が見込まれます。そのため、企業債残高を減らすなどの経費の削減に努め、適正な経理を行い、健全な経営状態を継続する必要があります。

2. 老朽化の状況
「老朽化の状況」を示す3つの項目のうち、「有形固定資産減価償却率」「管渠老朽化率」は、老朽化の進行に伴い、悪化していく見込みです。老朽化による事故を未然に防ぐため、下水道ストックマネジメント計画に基づき計画的かつ効率的な施設の更新を行う必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。